

- ② AI型デジタルドリルを導入
- ③ 今日からできるごみ減量
- ④-⑤ 特集
小泉今日子さんインタビュー
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」「カタログポケット」ネットは「マイ広報紙」



故郷へ届ける思い

「何者でもなかった自分を知っている唯一の場所」。歌手や俳優に加え、文筆家としても活躍する小泉今日子さんにとつての厚木は、心のどこかに当たり前に息づく大切な存在。自身が思春期までを過ごした「ほろ苦さ」を知る場所でもあります。

大型商業施設などに頼らず、「厚木らしい姿を生かしたまま発展してほしい」と、故郷に思いをはせる小泉さん。11月には市制70周年を記念し、本をテーマにひと月にわたって開催する「図書館フェスティバル」に出演します。

出演はフェスティバルの大トリ。自身のヒット曲「マイ・スウィート・ホーム」を冠したイベントで、講演や本の朗読をします。「皆さんに楽しんでもらえる内容を心込めて準備したい」と意気込む「キョンキョン」。生まれ育った街に帰ってきます。

《4・5面に関連記事》

サイン入り色紙をプレゼント



申し込みはこちら

対象 市内在住の方5人

市公式LINEの応募フォームまたはハガキに色紙希望の旨、〒住所、氏名、電話番号を書き、10月31日(必着)までに〒243-8511広報シティプロモーション課☎225-2040へ。抽選。※当選者発表は、発送をもって代えさせていただきます(11月発送予定)。

無料

小泉今日子講演会 My Sweet Home Atsugi 本のこと、私のこと

日時 11月30日 10時30分～12時
会場 文化会館
対象 市内在住在勤在学の方1300人

10月15日までに講座予約システムまたは往復はがきで申し込み。抽選。詳細は市HPに掲載。



詳細はこちら

中央図書館☎223-0033

Zoom Up

一人一人に合わせた学びを

AI型デジタルドリルを導入

市立小・中学校では2021年から、児童・生徒に一人一台のパソコン端末を整備して授業などで活用しています。5月からは人工知能（AI）が搭載されたデジタルドリルを導入。AIが子どもたちの正答率を踏まえた問題を出題し、理解度に応じた学びを提供していきます。

国はスマートフォンやタブレットなどの情報通信技術（ICT）を学校に整備し、個々の特性に合わせた教育を目指す「GIGAスクール構想」を掲げています。市教育委員会では子どもたちにパソコン端末を一人一台用意し、インターネットでの調べ学習や資料の共有などで活用してきました。時代に合った方法で学びをより深められるよう、5月からAI型デジタルドリル教材を新たに導入しました。

習熟度に合わせて問題を

導入したのは、子どもたちの理解度や学習進度に合った問題を自動で出題

するドリルです。国語や算数（数学）、理科など主要な科目に対応しています。AIは一人一人の正答率を単元ごとに分析し、理解度が低い箇所には基礎的な問題、高い箇所には応用問題を出題（左欄参照）。習熟度に応じた問題と向き合うことで、学習のつまづきの解消や応用力の向上が期待できます。

教員側では、児童・生徒の教科ごとの正答率や学習時間、解いた問題などを確認できるため、授業の進行や教え方に生かすなど、状況に応じたサポートがしやすくなります。玉川小学校の明石悠吾教諭は「休み時間などで自主的にドリルに取り組み子どももいる。問題を解くとポイントがたまるときの楽し

く学べる要素も増えたので、より前向きに勉強できている」と話します。

学びやすい環境をつくる

他にも、端末の扱いに不慣れな子どもを支援するため、「GIGAステッブアップ支援員」を配置。今年度から6人増員し、9人体制で全小・中学校を巡回します。また、端末の故障やバッテリーの劣化を受け、来年3月までに全ての端末を更新します。今後も安全で快適に利用できる環境を整え、子どもたちが楽しく学びを深められるよう、取り組んでいきます。

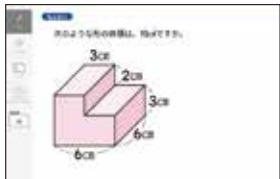
問 教育研究所 ☎25-2682



自習の時間などを中心に活用

AI型デジタルドリル教材の仕組み

問題集を解く 例) 体積を求める問題



全問正解

応用問題などで得意を伸ばす
例) 展開図から体積を求める問題など



正答率が低い

前の単元の問題で基礎を固める
例) 立方体の体積を求める問題など



教員側では単元ごとの取り組み状況や正誤、全体の正答率などを把握できる。

子どもたちの健やかな成長と質の高い教育のために



教職員の働き方改革に協力を

児童・生徒一人一人と向き合う時間を確保し、豊かな学びや成長につなげられるよう、教職員の働き方改革に取り組んでいます。

《教育委員会の取り組み》

教職員がより職務に専念できるよう、環境の改善を進めています。

- 学校閉庁日を年間3日から6日に拡大
- 部活動を実施しない日を週2日以上設定



その他の取り組み

《地域全体で子どもたちのサポートを》

子どもたちの健やかな成長に向け、児童・生徒の登下校の見守り、SNSをはじめとしたインターネットに関連する問題への対処などに地域からの協力をお願いします。

《お願い》

- ◆学校への電話は夜間・休日を除いた勤務時間内にしてください。
- ◆地域の行事に教員の協力を求めることは、なるべくお控えください。

問 教育総務課 ☎225-2663

2026年度4月入所

放課後児童クラブ入所児童を募集

市内23小学校区にある放課後児童クラブで、子どもたちを預かります。



《対象》 ①各学区内の小学生②保護者全員が15時以降までの勤務や疾病などで放課後に適切な保育ができない③保護者などが19時まで迎えに来られない一〇の全てを満たす児童

《時間》 平日（学校休業日を除く）＝ 終業後～19時
土曜・長期休業日など ＝ 7時30分～19時
※日曜、祝日、学校閉庁日、年末年始などは休所

《費用》 育成料＝月額4000円（18時まで）
月額4800円（19時まで）
クラブ費＝月額3500円（おやつ代、教材費ほか）

申 こども育成課や市HPにある入所案内を確認し、申請書と必要書類を直接または郵送で11月17～28日（必着）に〒243-8511こども育成課へ。
※入所中の児童も再度の申請が必要。



詳細はこちら

問 こども育成課 ☎225-2582



厚木南公民館の紙資源回収ボックス

Q Zoom Up

10月は3R推進月間

今日からできるごみ減量

家庭から出る燃えるごみの中には、資源となる紙類や食品など、本来はごみにならないものも多く含まれています。ごみを減らすため、正しい分別や無駄のない買い物など、環境に優しい生活を心掛けましょう。

小さな積み重ねが大きな効果に

昨年度、市内から出たごみは約6万3千ト。そのうち76%は、家庭から出されました。ごみを焼却処分すると、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスが発生します。ごみを減らし、未来に豊かな環境を残すには、一人一人が問題意識を持ち、生活の中で工夫を重ねることが大切です。

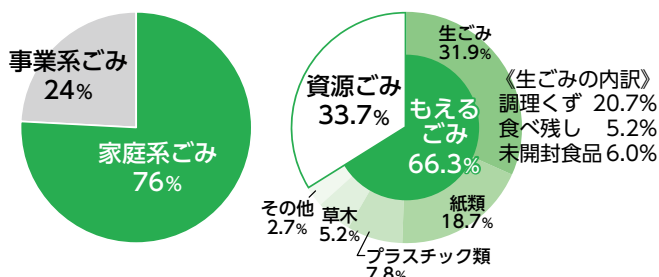
家庭ごみの約66%は燃えるごみです(左グラフ参照)。減少傾向にあるものの、中にはプラスチック類やメモ用紙、菓子の箱、雑誌などの紙類で再利用できる資源がいまだに多く含まれています。紙類の資源化に向け、厚木南・厚木北・睦合北・緑ヶ丘公民館に紙資源回収ボックスを新たに設置。収集日に限らず、気軽に持ち込みができるようになりまし。

燃えるごみの約半数を占めるのが生ごみです。まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が多く含まれ、食べ残しのほか、未開封食品や傷んでしまった野菜や肉などの食材もあります。生ごみの減量には、使い切れる量

市内から出たごみの量 (2024年度)

市全体 6万3257トン

家庭系 4万7998トン



ごみ減量に向けた取り組み

■地域情報サイト運営会社ジモティーと協定を締結

利用者にとって不要でも、まだ使えそうな家具や家電などを、掲示板サイト「ジモティー」を活用し、譲渡・交換できる仕組みを紹介。リユースを推進し、持続可能な循環型社会を目指します。

■3010運動 (10月30日は食品ロス削減の日)

会食や宴会時での食べ残しを減らすため、最初の30分と最後の10分は自分の席で食事をする「3010運動」を推奨。市内60店舗の飲食店がこの活動に参加しています。右のステッカーが目印です。



3Rとは？

- リデュース
・Reduce=減らす
必要な分だけを買う、買ったものは長く使う
- リユース
・Reuse=繰り返し使う
詰め替え製品など使えるものは繰り返し使う
- リサイクル
・Recycle=再生利用
必要なくなった物を資源として使う

環境に優しい生活を

の食材を買い、残さずに食べる「使い切り・食べ切り」に加え、捨てる前に水を絞る「水切り」も効果的です(左下欄参照)。

市では他にも、陳列棚の手前にある賞味期限が短い商品から取る「てまえどり」や、生ごみ処理機の購入費用の補助(右下欄参照)、市公式LINEを活用した分別検索などを推奨。皆さんの減量・分別を後押ししています。

10月は「3R推進月間」です。生活の中で必ず発生するごみは、私たちの日頃の取り組みで減らせます。まずはできることから取り組みませんか。

環境事業課 ☎225-2793

ごみ削減で環境に優しく

生ごみ処理機の購入費を補助

生ごみの排出量を減らすため、処理機の購入・設置費の一部を補助します。



■家庭用

- 《対象》 市内在住で、居住地で適切に維持管理できる方
- 《対象機器》 4月1日～2026年2月28日に購入した家庭用ごみ処理機(ディスポーザー・中古品は除く)
- 《補助額》 上限2万円(本体価格の5分の4) ※1世帯2台まで

④購入後3カ月以内に環境事業課や環境政策課、市HPにある申請書を、直接または郵送で〒243-8511 環境事業課へ。(申請は26年2月28日まで)



詳細はこちら

■事業者用

- 《対象》 市内に事業所のある事業者または市内で事業を営む個人
- 《対象機器》 1日に10^{キロ}以上または設置工事を伴わない1日に2^{キロ}以上の処理能力がある生ごみ処理機
- 《補助額》 上限200万円(設置費用の3分の2) ※1事業所1台まで

④設置前に直接、環境事業課へ。



詳細はこちら

環境事業課 ☎225-2793

燃えるごみを減らす工夫を

◆きちんと分別

紙類やプラスチック製容器包装、木の枝、落ち葉、雑草は資源です。プラスチック製容器包装やペットボトルは、汚れを落とし、正しく分別しましょう。

◆「使い切り」「食べ切り」「水切り」

食材は使い切れる量を購入し、料理は食べ切れる量を作りましょう。生ごみは、袋に入れる前の水切りを忘れずに。



詳細はこちら

(70th) 環境問題を楽しく学ぼう

あつぎ環境フェア



環境に関連する市民団体や事業者、大学などがブースを設け、展示やワークショップなどを開催します。

環境政策課 ☎225-2749

日時 10月26日 10～15時(荒天中止)

会場 厚木中央公園

内容 あつぎの生き物触れ合いコーナー、生き物カプセルトイ販売、電気自動車・ソーラークーラーの展示、市内産の野菜・ジビエ販売、古本販売、市民ふれあいマーケットなど

④当日、直接会場へ

無料



詳細はこちら

無料 図書館フェスティバル

市制70周年を記念して、
本と楽しく関われるイベン
トを開催します。



詳細はこちら

ミュージカル「それゆけ！孫悟空」

日時 | 11月1日 13時30分～14時30分

会場 | 厚木シティプラザ

内容 | 劇団による本格マスク舞台劇
「それゆけ！孫悟空」を上演。

対象 | 市内在住在勤在学の方100人
(未就学児は保護者同伴)

不要。先着順。

厚木の昔を知るおはなし会

厚木のむかしむかしかみしばい

日時 | 11月8・15・22・29日
14時～14時30分

会場 | 中央図書館

内容 | 紙芝居の読み聞かせ。

対象 | 4歳～小学2年生程度各回20人

不要。先着順。

わらべうたであそぼう

日時 | 11月16日
①10時30分～11時
②11時30分～12時30分

会場 | 中央図書館

内容 | わらべ歌や歌遊びなど。

対象 | 市内在住の
①0～2歳と保護者15組
②3～6歳と保護者20組

10月28日から直接または電話で中央図書館へ。先着順。☎

絵本作家 きむらゆういちさん
ワークショップ&読み聞かせ

日時 | 11月24日
①10時～②13時～
(各回60分)

会場 | 厚木シティプラザ

内容 | 数々の名作を生み出
してきた絵本作家・
きむらゆういちさん
による工作のワーク
ショップと読み聞かせ、サイン会。

対象 | 市内在住の小学生以下と保護者各
回30組

10月28日から直接または電話で中央図書館へ。先着順。☎

図書展示「小泉今日子さん特集」

小泉さんの著書や関連
書籍、CDなど約100点
を展示します。

11月28日まで
会場 中央図書館

☎中央図書館 ☎223-0033



- 1.「厚木のむかしむかし絵本」を読む
小泉さん
2. 文筆家として多くの著書を発表
- 3.「活字が苦手でも雑誌や画集からも
情報が得られる」と小泉さん

図書館には
探している答えがある

「ホントのコイズミさん」 ©小泉今日子/303BOOKS
「パンダのanan」 ©小泉今日子/マガジンハウス文庫
「黄色いマンション黒い猫」 ©小泉今日子/新潮文庫

この業界では、本から生まれ
るものが多くあります。小説や
漫画が原作となっている作品に
携わることも多いですし、自分
の音楽作品のテーマにしたこと
もあります。

私の好きな作品に、ドイツの
児童文学作家ミヒャエル・エン
デが書いた「モモ」や「はてし
ない物語」があります。20代前
半の時には、その世界観をイ
メージした「ファンタージェン」
(ドイツ語で幻想)というアル
バムを作りました。

図書館の魅力とは

さまざまなことを知ることが
でき、運命の一冊にも出合える
かもしれない。本が苦手という
人には、雑誌や絵本、画集もあ
るので、気楽に利用してほしい
ですね。「知っている」ってこと



※今後、変更になる場合があります。
複合施設の図書館イメージ図

本の存在が芸能活動の中で
生きたことは

たくさんあります。例えば、
太宰治の「人間失格」。太宰さん
は「暗い」という意見をよく耳
にしますが、私にはユーモアの
ある人に感じられたんです。気
になって短編集などを読みあさ
ると、やっぱり思った通りの人
でした。自意識過剰な面があり
つつ、そんな自分をちゃんと感
じながら文学に落し込んでい
る感じがすごく面白いんです。

これまで自身に影響を与え
た作家や本は

気になったことや意味が分から
ない言葉、読めない言葉があれば、
辞書で調べてノートに書き
留めるんです。私にとってそれ
はすごく楽しい遊びでした。テ
レビ局などで、知らない人から
話し掛けられないための小道具
でもありました。

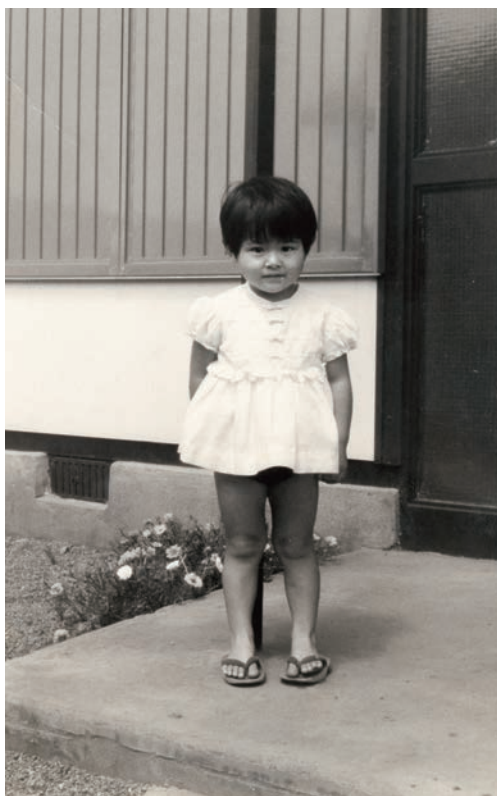
家族のみんなが読書好きで、
家にはたくさん本がありまし
た。私は末っ子で、生まれた時
から姉たちが読んだ世界の名作
集や、漫画を手にとれる環境に
あったんです。小さい頃の私は、
友達と歌って遊んでばかりで、
家族の中で最も読書をしない子
だったんですが、留守番をして
いるうちに身近にあった本に自
然と親しむようになっていまし
た。

本のこと

読書をするようになった
きっかけは

家族の中で私は一番

読書しない子だった



2歳の頃に引越した三田の実家
提供＝別冊太陽編集部（平凡社）

本の魅力はどんなところか

読書している私を客観的に見
たら、とても静かな時間を過ご
しているように見えるでしょ
う。でも、本の世界で私は宇宙
にいるかもしれないし、江戸時
代に迷い込んでいるかもしれな
い。そのギャップが、やっぱり
魅力だなんて思います。いろ
んな時代や架空の国にも、ど
こにでも入っていける。脳の中
だけで旅をする感じが、とても
面白いんです。

書評やエッセイを書く上で
意識していることは

身の丈以上の言葉は使わない
ようにしたり、書くたびに
ちよっと趣向を変えたりして
います。例えば「16歳の私」に
なりきってみたり、猫になりき
てみたり、自分なりにテーマを
決めて楽しんでいますね。

市民の方に手に取ってほし
い本は

元々は小説が好きなのですが
が、最近では知りたいことを本で
調べようと思うようになりまし
た。今はSNSでたくさんの方の情
報が流れてきますけど、一人の
言葉をそのまま信じていいの
かって思っています。その人が
言っている事柄に関する本を探
して読んで、ちゃんとした知識
を身に付ける。そういう読み方
を提案したいですね。不確かな
情報もたくさん流れていること
を知ってほしいし、それを埋め
られるのは本だよっていうこと
はすごく言いたいですね。図書
館にはたくさん本があります。

最近、60歳を前にして、厚木
が「最後に住む場所になるかも
」と考えることがあります。私は
「今日子」という名前の通り、今
を全力で過ごしています。先の
ことはまだ考えていませんが、
生まれた場所で社会につながる
活動や企画を生み出せたらいい
なって思っています。

これから

2027年のオープンに向
けて、図書館を含む複合施設
の整備を進めています。新し
い図書館に期待することは

人が集まれる文化的施設
って、すごくいいと思います。地
方の小さな本屋さんでは、作家
を呼んでのトークショーや朗読
会、読書会、みんなで同じ本を
読んで感想を言い合うイベント
がたくさん開かれています。図
書館に人が集まれる場所を意
識的に作って、敷居を低くする
のもいいのではないですか。

アコースティックなどの音楽が
流れてもいいかもしれない。た
くさんの人が利用できて、文化
の交流が盛んな場所になってほ
しいですね。そして、市外の人
から「あそこの図書館っていい
ね」って思われて、「私たちがや
りたいね」って広がっていった
ら、すごく誇らしいなって思
います。厚木には文化的なところ
が元からあるので、良い流れが
できたらもっとすてきになるだ
ろうなって…。

一流の技を肌で体感 プロ選手による卓球クリニックを開催



熱のこもった指導をする平野選手

とプロ選手から技術を学び、緊張しつつも楽しく貴重な経験ができた」と笑顔を見せた。平野選手は「久しぶりに卓球を指導する機会をもたえ、初心に返ることができた。とても楽しい時間だった」と話しました。

トップアスリートから技術を学ぶ「卓球クリニック」を8月に荻野運動公園で開催しました。115人が参加し、女子日本代表の平野美宇選手などから指導を受けました。選手たちは小学生に基礎的なフォームやラケットの握り方、中学・高校生以上には実践的なフットワークや細かい戦術などを指導しました。

参加した落合隼人さん(13)は「世界で活躍する

音色が届ける平和への願い

平和のつどい「被爆ピアノ演奏会」を開催

トやバイオリンなどと合わせて美しい音色を響かせました。来場した小林功治さん(80)は「広島で亡くなった人たちの思いと未来への希望が、音色に込められているようで感動した」と話しました。



被爆ピアノは全国各地を巡回している

演奏会は、市制70周年記念事業玉川地区委員会と市戦後・被爆80年記念事業実行委員会が共催。被爆ピアノは被爆2世で調律師の矢川光則さんが持ち込みました。南毛利中学校合唱部はピアノの音に乗せ、歌声を披露。市とゆかりのあるピアニスト・渡辺俊爾さんはフルー

戦後80年を迎えた8月、広島で被爆したピアノの音色に合わせて合唱や演奏を披露する「被爆ピアノ演奏会」を文化会館で実施。市民など350人が参加し、平和な世界の実現を願いました。

夏の夜を音楽と楽しむ

厚木公園で「あつきジャズナイト」を開催

ジャズの生演奏を聴きながら地ビールや料理などを味わえる「あつきジャズナイト」が8月21・22日の2日間にわたり開催。大学生や仕事終わりの会社員など約1万5千人がジャズの軽快なメロディーやグルメを楽しみました。



夏の夜風を感じながら演奏に聞き入る

イベントは、今回で14回目。東京農業大学の「サニーサイドジャズオーケストラ」の迫力ある演奏を皮切りに、総勢10組のアーティストが演奏を披露し、会場をジャズの音色で魅了しました。友人と訪れた吉米地樹さん(53)は「夜風が気持ち良く、ゆっくり過ごせた。周りのお客さんもみんな楽しそうで雰囲気も良いので、来年もまた来たい」と笑顔で話しました。

夢をかなえるために

卓球・水谷さんとアナウンサー・梅澤さんがトーク

卓球の東京五輪金メダリスト・水谷隼さんと本市出身のアナウンサー・梅澤廉さんによるトークショーを8月、文化会館で開催しました。親子連れなど315人が参加し、2人の軽快な話に耳を傾けました。



困難の乗り越え方などを熱弁

トークショーでは、「目標達成に向けて取り組む力」をテーマに自身の体験を基に講演。梅澤さんは「本番で力を発揮するためには日々の積み重ねが重要」と笑顔で話し、水谷さんは「世界一など大きな結果を残したいのなら、リスクを背負うことを恐れてはいけない」と力を込めて語りました。会場を訪れた子どもたちは「最後まで頑張り続けることが大切だと感じた」「大変な練習を当たり前にやっていてすごいと思った」と話しました。

未来へ一歩つながる あつき70年 みんなで祝おう！ 70周年

2025年2月1日、市制施行70周年を迎えました。節目の年を皆さんとお祝いするため、スポーツ・文化芸術・歴史など幅広い分野で事業を実施。連載では、旬な話題を紹介していきます。

今月の話題 市にゆかりのあるスポーツチームを応援

市内を拠点とするスポーツチームなどを応援する「プロスポーツ応援キャラバン」をこれまで4回にわたり実施してきました。市内ではハンドボール、野球、サッカーなど幅広い分野のスポーツチームが活動しています。



初回は荻野運動公園で女子ハンドボールチーム「BLUE SAKUYA」を応援

今後も皆さんと一緒に市内のスポーツを盛り上げていきます。

記念事業やイベントなどの情報は、市制70周年記念サイトをご覧ください。



企画政策課 ☎225-2450



協定を結んだ事業者の物資運搬訓練も実施

猛暑が続いた8月の終わり、大規模災害を想定した防災訓練を市内全域で実施しました。昨年は台風の影響で中止しましたが、今年は快晴の中、初期消火や避難所開設を中心とした訓練が各所で展開。防災・減災に向け、大粒の汗を流す皆さんの姿に心強さを感じました。水や電気が使えない災害時は、避難所や家庭で「トイレ問題」が深刻となります。訓練では簡易トイレを組み立てる地区が多く、自治会には

「近助」の大切さも実感。日頃の「向こう3軒両隣」の関係を深める自治会行事は、地域の助け合いをより強固にする原動力となるでしょう。本市では、指定避難所に生活用水を確保する防災井戸や水洗式マンホールトイレの導入を検討しています。小・中学校体育館には、来年度までに冷暖房設備も整備。自然災害は止められませんが、私たちの手で減災はできます。今後皆さんと手を携え、防災力を高めてまいります。

携帯トイレを配っていただきました。携帯トイレの備えの目安は一人35回分(1日5回を7日分)。ぜひ、ご家庭でも備蓄をお願いします。訓練を見て、市長として皆さんの命、暮らし、そして笑顔を守る責任を改めて胸に刻みました。「自助」「共助」に加え、

タウンガイド

10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 FAX=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📞=講座予約システム (70th)=市制70周年記念事業
 愛TV 10/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「実りの季節」

#9月3日撮影
 #稲穂
 #黄金色
 #niceatsugi
 市公式インスタ
 グラムで公開中



70th 野外彫刻造形展 あつぎ青空アート展

期間 10月5～13日
 会場 ぼうさいの丘公園

秋空の下、プロの作家や子どもたちの作品を展示し、ワークショップなどを開催します。

☎文化魅力創造課 ☎225-2508

◆かざぐるまアート

《日にち》10月5日

《内容》世界に一つだけの風車を作る

《対象》50人

◆手形アート

《日にち》10月5～13日

《内容》自分の手形で作品を作る

◆野点

《日にち》10月11・12日

《内容》抹茶と菓子を楽しむ

◆フラッグアート

《日にち》10月5日

《内容》1枚の大きな布に絵を描く

《対象》小学生以上

●木の実アート

《日にち》10月11・12日

《内容》木の実を使って小さなオブジェを作る

いずれも時間は10～15時。無料(●は1個150円)。

☎不要。先着順。



詳細はこちら

あかちゃんハイハイレース

10月4日、10時～14時30分。アミューあつぎ。専用コースをハイハイし、ゴールを目指す。定員120人。無料。☎不要。先着順。☎商業観光課 ☎225-2840。

あつぎストリートフェス

10月18日、17時30分～19時30分。中町花の公園。路上ミュージシャンによるストリートライブ。無料。☎不要。☎文化魅力創造課 ☎225-2508。

市民法律講座

11月①7日②14日③21日(全3回)、18時～19時30分。あつぎ市民交流プラザ。①相続の前段階②後見申

立て③スマートフォンの向こう側の消費者被害を弁護士が講義。希望するテーマのみ受講も可。市内在住在勤在学の方各回30人。無料。☎10月1～24日に市民協働推進課 ☎225-2100へ。先着順。☎

救急救命講習会

■応急手当普通救命講習会(小児・乳児対象)

11月4日、13時30分～。

■応急手当普通救命講習会

11月15日、9時～。

いずれも180分。消防本部。応急手当での重要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上30人。無料。☎10月1～9日に

救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。☎

企画展「記録されたあつぎの災害—地震・神鳴り・禍事・やまひ—」

■展示

10月4日～11月30日。近世の記録書や関連資料の展示。

●地震体験講座

10月18日。南海トラフ地震を想定した起震車体験。

◆講演会

11月30日。地域史の専門家による「宝永噴火と県央地域」をテーマにした講演会。

いずれもあつぎ郷土博物館。無料。●◆は13時30分～15時30分。各50人。☎●10月15日◆11月20日までにあつぎ郷土博物館 ☎225-2515へ。抽選。☎

スキマFIT over 40

11月10日、14時～15時30分。依知南公民館。保健師による健康づくりの講話とラテン系の音楽に合わせた運動。市内在住の40歳以上20人。無料。☎10月20日までに健康医療課 ☎225-2201へ。抽選。☎

あつぎミュージックフェスティバル新人シンガー発掘オーディション大賞者決定

最終選考に選ばれた3組の出場者から向井柚貴さんが大賞に決定。向井柚貴さんは11月2日に開催されるコンサートへの出演や配信デビューを予定。その他の受賞者は厚木市長特別賞に滝沢純礼さん、FMヨコハマ賞に池永賢太さん。☎文化魅力創造課 ☎225-2508。

平和のための展示会

平和への思いを描いた絵やメッセージ、戦争の様子を記録したパネルなどを展示します。

《期間》①10月1～31日②10月23～26日

《会場》①あつぎロードギャラリー
 ②あつぎ市民交流プラザ

☎地域包括ケア推進課 ☎225-2200

詳細はこちら



無料 横手市増田まんが美術館厚木出張所 サイン会・ワークショップ

市制70周年・友好都市締結40周年を記念して漫画の魅力を楽しめるイベントを開催します。☎企画政策課 ☎225-2050

■高橋よしひろ先生サイン会

《日時》11月15日①11時～②14時～

《定員》各回50人

●Gペンを使った漫画家体験

《日時》11月23日

①10時～②11時30分～

③14時～④15時30分～

《定員》各回15人



いずれも会場はあつぎ市民交流プラザ。

☎10月☎26日

●31日までに電子申請システムから申し込み。



詳細はこちら

70th 文化芸術に触れる

市民文化祭

皆さんが制作した芸術作品の展示や体験など楽しみませんか。

☎文化魅力創造課 ☎225-2508

参加型イベント

《はじめての文化芸術体験》10月19日、10時30分～15時。本厚木ミロード「ミロにわ」。美術・短歌・書道・華道の体験と日舞・合唱の発表。無料。☎不要。先着順。各体験の時間や定員などは市HPに掲載。

《文化財巡り》11月3日、9～12時。上荻野の文化財を見学。無料(交通費は実費)。☎当日9時に本厚木駅北口へ。

開催スケジュール

■文化会館

歌謡＝10月25日。盆栽＝10月25・26日。輝こう！文化みらい芸能祭・箏曲＝11月1日。あつぎ音楽祭・義太夫・剣詩舞＝11月2日。茶会＝11月2・8日。民謡・詩吟・囲碁大会＝11月8日。謡曲・日舞・公募団体発表会＝11月9日。

■あつぎ市民交流プラザ

川柳・短歌・俳句展＝10月25～30日。川柳会・俳句会＝10月25日。華道＝10月25・26日。歌会＝10月26日。美術・陶芸・手工芸展＝10月28日～11月3日。茶会＝11月1日。書道展・写真展＝11月5～11日。菊花展＝11月6～11日。

詳細はこちら



ホット

インターネットモニターからの意見を紹介

いメール



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2043

9月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆猟友会の活動を知り、命の大切さを感じた／70代以上男性 ◆移動子育てサロンが混雑して相談しづらかったので、回数が増えると助かる／40代女性 ◆健康づくりのためにあつぎ健康チャレンジに挑戦したい／40代男性 ◆定期的な健康診断を受けるきっかけになり、今後の生活を気を付けていきたい／30代女性 ◆野生鳥獣の被害が騒がれる中、対応している猟友会の方に感謝する／60代男性

編集後記

インタビューをした中で、本の話には特に目を輝かせて楽しそうに話しているのが印象的で、言葉選びからも飾らない等身大の人柄が垣間見えました。小泉さんが読書会など本を通じた人との交流を大切にしているのが伝わり、本は一人で静かに楽しむものだというイメージがあった私にとって、新しい発見でした。小泉さん自身が持つ考え方や経験などが伝わるとうれしいです。／亀山

市の鳥を 決める投票が始まります

市制70周年を記念し、市が有する豊かな自然の保護意識を高め、今後のまちづくりの新たなシンボルとする「市の鳥」を皆さんの投票で決めます。有識者などが選定した5種類の候補から1つを選び、投票をお願いします。
☎企画政策課 ☎225-2450



エナガ

大きさが日本で最小クラス。親鳥以外も子育てに参加するなど、群れで助け合いながら暮らす。

まちづくりイメージ **コミュニティ・仲間**



オオルリ

渓流沿いの山林に渡来する夏鳥で、澄んださえずりと美しい瑠璃色の羽を持つ。幸せを運ぶ青い鳥として知られる。

まちづくりイメージ **魅力・幸福**



サンコウチョウ

夏に渡来し、平地から低い山林に生息する。親鳥が共に子育てに参加する。個性的なさえずりが有名。

まちづくりイメージ **子育て・個性**



ツバメ

飛翔能力に優れている。建物や人家に巣を作るため、家を守る縁起の良い鳥として知られる。

まちづくりイメージ **子育て・希望**



フクロウ

視力に優れ、非常に静かに飛行する。「福来朗(福が来る)」などと称されるほか、知恵や知識のシンボルとして知られる。

まちづくりイメージ **教育・知性**

投票期間 **10月1～31日**

対 象 市内在住在勤在学の方

投票方法

①市公式LINE、電子申請システムから申し込み
②市役所、公民館、あつぎ市民交流プラザにある投票用紙を、投票箱に投函または直接、郵送で〒243-8511企画政策課へ。

愛TV 10/1～



詳細はこちら



電子申請はこちら

自然歳時記

● ヤマボウシ ●
ミズキ科

花は6月ごろに咲き、真っ白で美しい(円内の写真)。実が集合果で秋に赤く熟し甘酸っぱくておいしい。その実を鳥類や昆虫類が食べお互いに共存共栄している／棚沢の里山で見つけた。
写真・文／吉田文雄



樹木の表面いっばいに咲いた花(総苞片)を、山法師がかぶる頭巾に見立てたことが名前の由来と言われている。厳しい暑さが続きヤマボウシの実は大きくならないまま落ち、葉も黄色くなり元気がなかったが、昆虫たちのおかげで何とか受粉はできていた。恵みの雨を機に樹勢を取り戻し、大きな赤い実になった。鳥たちが食べた実の種が、広い範囲に運ばれて繁殖する。

オオスズメバチはキイロスズメバチを追っ払って実を食べていたが、小バエが目にとまると驚いて逃げた。ヤマボウシを取り巻く自然は、美しく不思議に満ち満ちている。

厚木市の人口
(9月1日現在)

 世帯数 10万7240世帯 (前月比52世帯増)

 人口 22万2940人 (前月比88人減) 男11万4948人・女10万7992人

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)横浜メディアアド ☎045-450-1802へ。